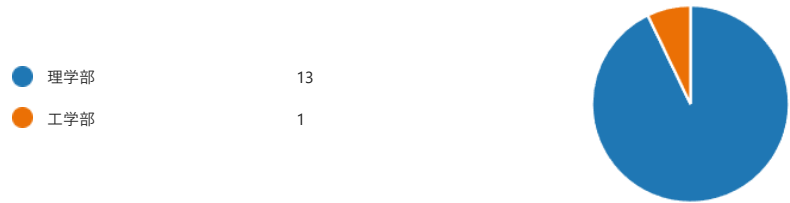


2024年度 理系科学英語夏期海外研修 アンケート結果（一部抜粋）

所属学部



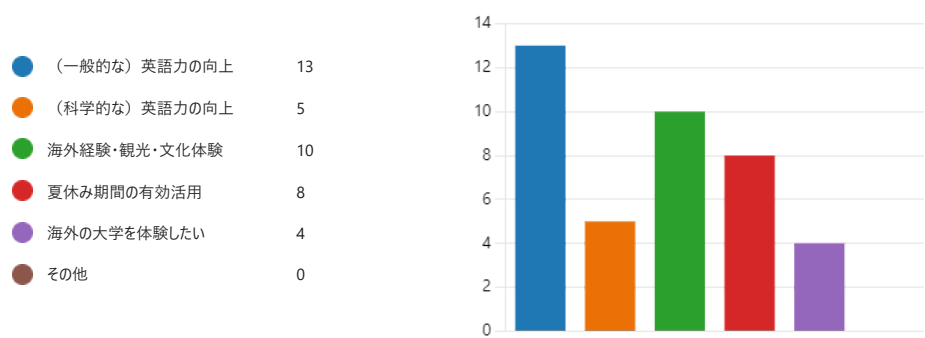
学科（工学部の学生は「その他」のところに学科名等を記入ください）



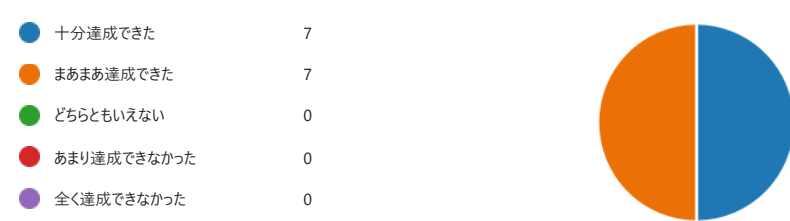
学年



本研修に参加を決めた主な目的は何ですか（複数回答可）



当初の目的を



午前の授業について【English Class】
課題について

非常に大変だった	1
少し大変だった	5
ちょうど良かった	7
少し物足りなかった	0
全く物足りなかった	1



午前の授業について【English Class】
授業のレベルについて

ついていけなかった	0
なんとかついていけた	0
ちょうど良かった	5
少し物足りなかった	7
全く物足りなかった	2



午前の授業について【English Class】
日本人以外の学生と積極的に話すことができましたか？

自分から積極的に話すことができた	6
相手から話しかけられたら、話すことができた	1
少し難しかった	0
日本人以外の学生はいたが、全くできなかった	0
日本人学生しかいなかったため、全くできなかった	7



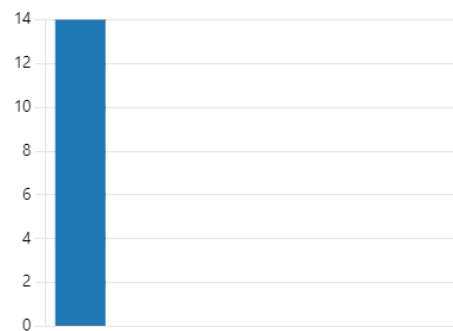
プレゼンの授業について【Activating English for Presentations / Activating English for Science】
エリザベス先生の講義内容について

非常に満足できた	6
やや満足できた	7
どちらでもない	1
やや不満である	0
とても不満である	0



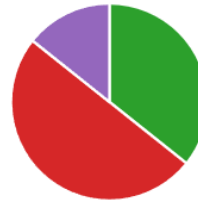
プレゼンの授業について【Activating English for Presentations / Activating English for Science】
エリザベス先生は積極的にグループワークの面倒を見てくれましたか？

頻繁に話しかけてくれアドバイスをくれた	14
まあまあ面倒を見てくれた	0
どちらでもない	0
やや不満（あまりアドバイスがない）	0
とても不満（全くアドバイスがない）	0
その他	0



プレゼンの授業について【Activating English for Presentations / Activating English for Science】
グループワークの際、英語で議論できましたか？

● 必ず英語で議論した	0
● 簡単なこと、専門的なこと含めて、80%くらいは英語で議論	0
● 50%くらいは英語で議論できたと思う	5
● 簡単なことは英語で議論したが専門用語等は日本語で議論した	7
● ほとんど日本語で議論した	2



プレゼンの授業について【Activating English for Presentations / Activating English for Science】
授業の回数は適切でしたか？（週に2回）

● 適切だった	9
● 多い	4
● 少ない	0
● どちらとも言えない	1



ホームステイについて
全体的に

● 非常に満足できた	8
● やや満足できた	6
● どちらでもない	0
● やや不満である	0
● とても不満である	0



ホームステイについて
ステイ先から大学までの所要時間は

● 30分以内	1
● 30～45分程度	3
● 45分～60分程度	4
● 1時間以上	6



ホームステイについて
インターネット/PC環境は

● ステイ先のネットワーク（Wi-Fi）に接続でき快適	13
● ステイ先のネットワーク（Wi-Fi）があったが不安定	1
● ステイ先のネットワーク（Wi-Fi）がなかった	0



ホームステイについて
食事は

非常に良かった	11
まあまあ良かった	2
どちらでもない	0
あまり良くなかった	1
全く良くなかった	0



ホームステイについて
ステイメイトは

いた	8
いなかった	6



ホームステイについて
ホストファミリーの英語は

よく聞き取れた	7
なんとか聞き取れた	5
あまり聞き取れなかった	2



次年度以降の参加者へのアドバイス
滞在中の生活費、交通費、お小遣い等を合わせてどの程度使いましたか

～10万円程度	3
10万円～20万円程度	6
20万円～30万円程度	5
30万円以上	0



次年度以降の参加者へのアドバイス

クレジットカード、現金、キャッシュカード等、何をどの程度持参し、どのように使い分けましたか。

- ・基本的にはクレカです。
- ・現金は3万換金がいいのではないのでしょうか。
- ・友達とのディナーで一括で払ったときのキャッシュバックや、ドライブに連れて行ってもらったときの駐車場代、通行料代など細かいところで使いました。割り勘のときは現金、それが以外はキャッシュ
- ・現金を店で使うことは全くなかった。ただし、現地の友人たちと遊びに行き、費用を割り勘する際は、日本人側からしたら送金手段がないので現金を渡すしかない。その時のために多少は現金を持っていく必要があると思う。私は2万円分を換金して持って行ったが、それで十分だった。
- ・現金は割り勘するくらいでほとんど使いません。タッチできるカードを持っていないとオパールカードのチャージができないところがあります
- ・カードはVISAとAMEXを持っていき、VISAを使った。現金は\$150持っていき、割り勘や遊びなどでほとんど使った。
- ・基本はクレジットカード利用だが、マーケットなどではクレジットカードだと少し高くなる店があるので少しは現金も持っていた方がよい。
- ・ほとんどクレジットカードで決済をしたが、日本人でない友達と割り勘をする際に現金を使った。
- ・基本的にはクレジットカードを使用。割り勘の時などは現金で調整した。
- ・大人数のご飯以外はカードでいいです。
- ・現金はほとんどいらない
- ・割り勘の時や、クレジットカードに比べて安くなる時に現金 300ドルぐらい使った。その他はクレジットカード"
- ・クレジットカードとデビットカードと日本円1万円を持参しました。デビットカードは万が一クレジットが切れなくなった時用だったので使いませんでした。現金は使わないだろうなと思っていたから両替もしなかったし、使いませんでした。全部クレジットで支払いました。
- ・JCBだけはやめておいた方がよいです。支払いはカードのみの店もあり現地での行動が制限されるので、折角の留学を思いっきり楽しむことができません。支払いを全てカードでするなら、現金は1万円もいらないように思いました。
- ・クレカしか使わず、現金は両替しなかった。

次年度以降の参加者へのアドバイス

その他、来年度以降の参加者へアドバイス（事前準備・持ち物・服装・現地での過ごし方等）がありましたらご記入ください。

- ・初手の動き出しが大事だと思います。勢いを持って現地生活に飛び込んで、友達をいっぱい作ったもんがちです。
- ・花粉症の薬を持参するべき
- ・朝は10度前後だが日中は30度近く、という日もあるので、とにかく調整できる服装をしてください。あと帽子と日焼け止めは必須です。
- ・割と暖かかったので春くらいと思って服装とかも用意してもいいかもしれませ
- ・防寒着は絶対に必要だと思った。ドライヤーやシャンプー類も常設していない家庭もあるため必要だと思った。週末は外に出たほうがよいと思う。
- ・大抵現地で買えるので持ち物はそこまで神経質にならなくて大丈夫。
- ・夜がとても寒いのに加えて暖房がない家がほとんどなので、厚手の寝巻きや靴下を持参した方がよいと思う。
- ・ポケットWi-Fiはおすすめしない。e-SIMが現地でSIMを購入するとよい。
- ・電化製品が海外対応がしっかり確認すること。
- ・半そでを持っていくべき
- ・睡眠はとりましょう。飲みすぎないようにしましょう
- ・飛行機用の枕をもっていかなかったら首が辛かったです。飛行機の中はとっても乾燥するのでマスクをしないと鼻の内側が裂けるんじゃないの！？という恐怖と戦う羽目になります。味噌汁を持って行ったのですが1食も飲まずにそのまま持って帰って帰りのスーツケースを圧迫したので持っていなくても良かったです。
- ・朝は寒いことが多かったので、長袖を多めに持っていくことをお勧めします。opal cardを使って、色々なところに行きましょう。日本でオーストラリアの観光の本を買っておくと、よりオーストラリアを楽しめると思います。
- ・寒暖差が激しいです。

研修全体の満足度は（100点満点評価で）

- ・95
- ・80
- ・85点
- ・90
- ・90
- ・95
- ・90
- ・80
- ・100
- ・100
- ・88.2
- ・100点
- ・80
- ・70

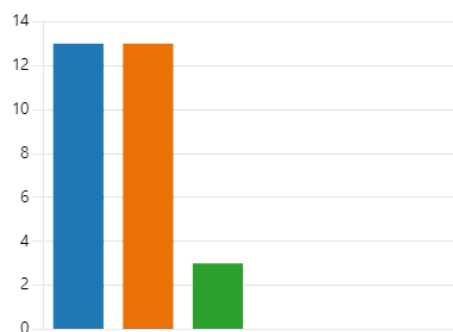
今回の研修の成果について
英語力は

非常に良くなったと思う	3
良くなったと思う	8
少し良くなったと思う	3
変化なし	0



今回の研修の成果について
特に伸びたと思うスキルは（該当するもの全てにチェックください）

リスニング	13
スピーキング	13
ライティング	3
リーディング	0
科学英語	0
その他	0



今回の研修の成果について
プレゼンテーションスキルについて

非常に良くなったと思う	1
良くなったと思う	10
少し良くなったと思う	2
変化なし	1



今回の研修の成果について
異文化理解について

非常に深まった	12
深まった	2
どちらともいえない	0



研修全体を通してよかったこと・成長できたこと

- ・海外の人に喋りかけることへの抵抗がなくなった。英語を介して友達を作れるという自信になった。
- ・英語で話しかけるのに怖くなった
- ・オーストラリアの友人ができたことです。色々な場所に連れて行ってくれたので、シドニー市内の観光がより一層楽しくなりました。
- ・コミュニケーションをとることが苦手でしたが、積極的に会話をしようと努めることができたので多少は成長したのではないかと思います。
- ・初対面の人と話すことが苦手だったけど何度も経験すると慣れて苦手意識が減った
- ・友達との日常会話の能力が非常に高まったと思う。
- ・初めての海外だったので、日本と違う文化に触れることができてとても良い経験になった。
- ・コミュニケーション能力や度胸のようなものがついたと思う。色々な国籍の子と関わる機会があったので他の国についてもっと知りたいと思うようになった。
- ・積極性が身についた。
- ・多くの友人に出会え、思い出を残せたこと。
- ・自分から話しかける積極性が身についた。いろんな国の人とのかかわることで様々な文化や考え方を知れて面白かった
- ・海外の大学の雰囲気を軽くつかめた
- ・行きの飛行機で見ていた料理番組を帰りの飛行機でも見ると、行くときは感じなかったイギリス英語とか東南アジア訛りとかを感じて、だいぶ英語を聞き慣れたなど実感した。行く前はネイティブみたいに喋れるに越したことはないと思っていたけれど、日本語訛りの英語でも全然良いと分かった。毎週末出かけるという、日本にいたら絶対にやらない休日の過ごし方ができた。阪大の理学部の先輩方が思っていたより勉強を頑張っていて優秀な人たちで、それを見ていると勉強のモチベーションが上がった。
- ・オーストラリアという色々な人種の人が居る中で生活できたことがとてもよかったです。色々な人の価値観や文化を知ることが出来ました。
- ・現地の人たちとの会話を通じてスピーキング、リスニング能力は改善された。